



今年も「子どもファースト」の学校にします！ ～保護者・地域の皆様 今年も本校への御支援をお願いいたします～

保護者や地域の皆様には昨年4月より、新任校長を温かく見守り、励まし、お力添えくださいまして心から感謝申し上げます。小池百合子知事は「都民ファースト」を提唱し、トランプ新大統領は「アメリカファースト」を唱えています。私は当然のことながら「子どもファースト」の学校にしていきたいと思っております。本年もよろしくをお願いいたします。

三学期の始業式より

2学期の終業式と同じように、今回も、新年の挨拶を子どもたちと交わした後、PowerPoint を使ってプレゼンテーションしながら「校長先生のお話」をしました。

まず、酉年の鳥がニワトリになった訳を考えました。諸説あると思いますが、私は「朝日を浴びて元気一杯『コケッコー！』と朝の到来を知らせ、毎朝、卵を産んで人の役に立っている鳥だからこそ、十二支に選ばれたのではないのでしょうか」と話し、「皆さんも酉年なので、ニワトリのように元気一杯、自分のためだけでなく人のためにも頑張りましょう！」と呼びかけました。



その後、3学期の具体的な取り組みとして「目標を持つこと」「あいさつを頑張ること」「健康的な生活をする」との3つを提案しました。ともすると私たちは『アドラーの心理学』でいうところの「言い訳を考えて変わろうとしない自分（マナーに陥る自分）」が現れてしまいますが、自分の生活をより望ましいものと変え、なりたい自分になっていくことが大切だと常々思っています。そのための第一歩として、子どもたちに「目標を持つこと」を大切にしてほしいと話しました。目標を持つということは、なりたい自分になるための最初の行動だと思います。

具体的には、短期の目標として「三学期の目標」を、そして中期の目標として「今年一年の目標」を、並行して立てるようにアドバイスしました。1年間かけてなりたい自分が明確にあり、それに向かって当面何をするのかという具体的な目標を持つことが大切です。子どもたちには、マナーに陥らず、自分で決めた目標に向かって精一杯努力するよう指導していきます。

その後、3学期を迎えて思うことと冬休み中に頑張ったこと等について「児童の発表」をしてもらいました。2・4・6年生児童に発表してもらいましたが、冬休みの楽しい思い出とともに、たくさんの素晴らしい目標が発表されました。



書き初め大会をしました！

1月11日（水）～13日（金）に、各学年で書き初め大会をしました。1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆です。

2学期から冬休みにかけて練習してきた成果を発揮して、どの子どもたちもとてもいい字を書き、素敵な作品に仕上がっていました。三年生は書き初め大会で初めて毛筆に挑戦し、平仮名2文字の「ふじ」を、四年生は漢字2文字の「大空」を、五年生は漢字と平仮名の混じった「雪どけ水」を、六年生は「早春の光」をそれぞれ書きました。



各学級担任の先生方の的確な指導と、子どもたちの地道な努力の成果が良く表れ、どの学級でも素晴らしい作品が多数生まれていました。写真からも先生方が工夫して指導し、子どもたちが集中して取り組んでいることがよくわかりますね。



ご家庭でも協力を インフルエンザ予防の徹底を！

世間でもインフルエンザが猛威を振っています。本校でも流行ってしまい、1年生で学級閉鎖、3年生が学年閉鎖をそれぞれ3日間行いました。学校内でもマスクの着用とともにお茶を使うのがいや、ハンドソープでの手洗いの徹底、換気の励行、前を向いての給食実施や机のアルコール消毒、加湿器を使っての適度な湿度への調整など、できる限りの予防策を講じています。お陰様で、新規のインフルエンザ罹患が峠を越え、罹患した子どもたちも治癒し、改善傾向になってきています。しかし、こればかりは安心できないので、今後ともご家庭での予防策もお願いしながら、気を緩めずに取り組んで参ります。

ボランティア委員会の活躍 ペットボトルキャップ集め

ボランティア委員会が全校の子どもたちに協力してもらい委員会活動としてペットボトルキャップを集めていたのですが、なんとゴミ袋12袋分、重さにして78.6kgにもなりました。1月17日（火）に旧相生小学校にある甲府市のボランティアセンターにそれを届けました。とてもたくさんの量でしたので、市の担当職員の皆さんにも喜んでいただきました。ボランティア委員会の子どもの活躍とその素晴らしい成果に、大きな拍手を送ります。

